伊賀市　事務事業評価シート

ソフト事業

	コード	名　　　称		コード	名　　　称
事業名	1028.5	生涯学習推進啓発事業	会計	01	一般会計
			款	10	教育費
基本施策	38	互いを認め合い、すべての人の人権を尊重する	項	05	社会教育費
			目	01	社会教育総務費
担当部課名	教育委員会　大山田分室		細目	102	生涯学習推進事業
作成者氏名	山本正彦	連絡先　46－0130	細々目	01	生涯学習推進啓発事業

事業の計画・内容

	対象等（何を、誰を）	成果（どうなるのか）
事業の目的	提供する講座を受講した市民。	家庭・同和問題の正しい理解と認識を深める
本年度事業内容	家庭・同和教育の講演等	

開始年度	平成　　　年度	終了年度	平成　　　年度	根拠法令・要綱等	

投入資源

			H17	H18（予算）	H19（予算）
①投入人員	正規職員　（人）			0.1	0.1
	人件費合計（A）		0	720	720
②支出内訳（千円）		事業費（B）	0	100	100
		事業推進報償		100	100
		その他			
合計（A+B）			0	820	820
③財源内訳（千円）	特定財源	国県支出金			
		地方債			
		受益者負担			
		その他特財			
	一般財源		0	820	820

上記①～③に関する特記事項

17年度は、社会教育推進経費であり、18年度予算で科目換えになっている。（17年度は、支出していない。）

事業実績

活動指標	単位	実績値 H17	目標値 H18	目標値 H19
講演等	回	1	1	1

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18（目標）	H19（目標）
家庭・同和教育の講演	講演会の参加人数	人	目標（　　）	50	50
			目標（　　）		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

地域において家庭・同和問題の講演等の開催により、正しい理解と認識を深める。

評価				総合評価
	必要性	4	人権同和課、ライトピア大山田と連携し、一人ひとりの意識改革に取り組むことが重要である。	A
	有効性	3		
	達成度	3		
	効率性	3		